

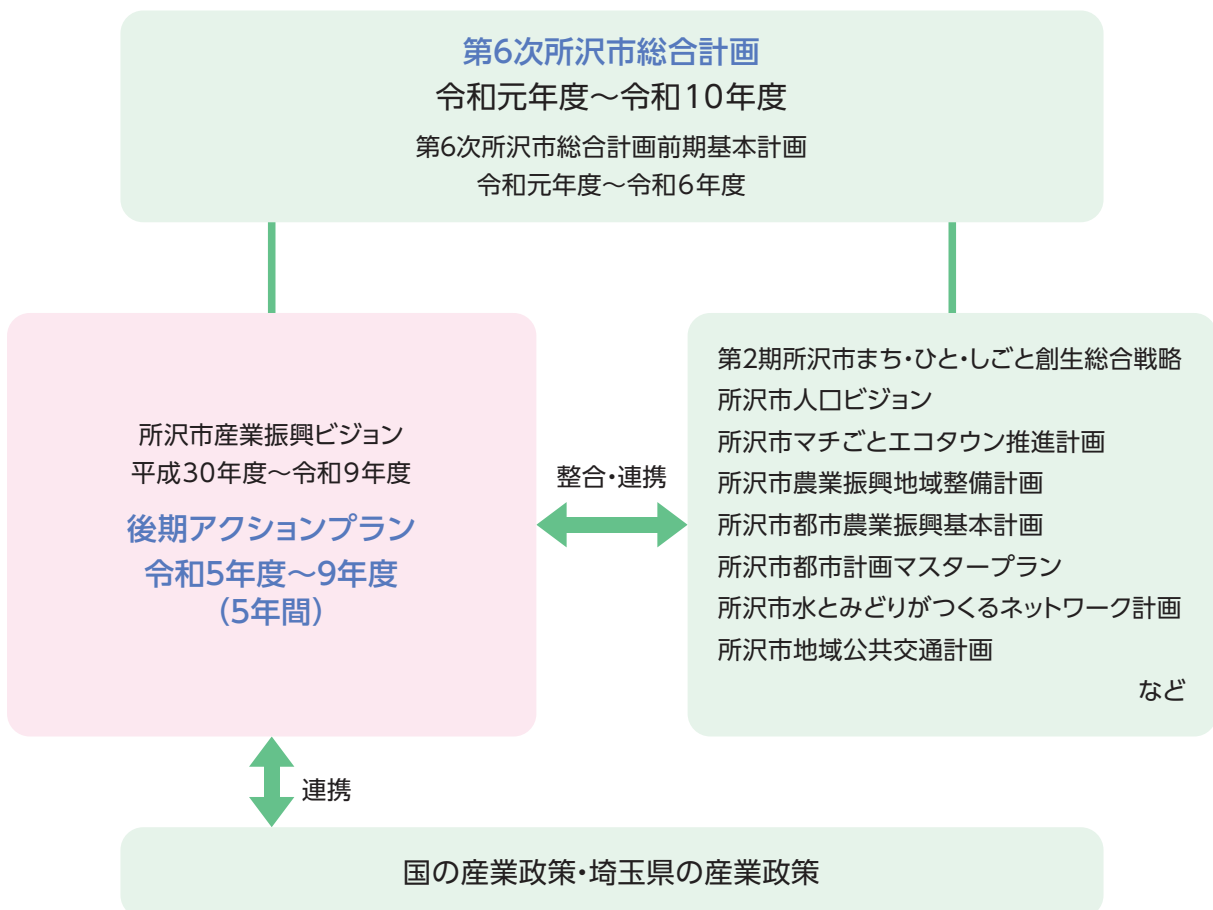
1-1

産業振興ビジョンの位置づけ

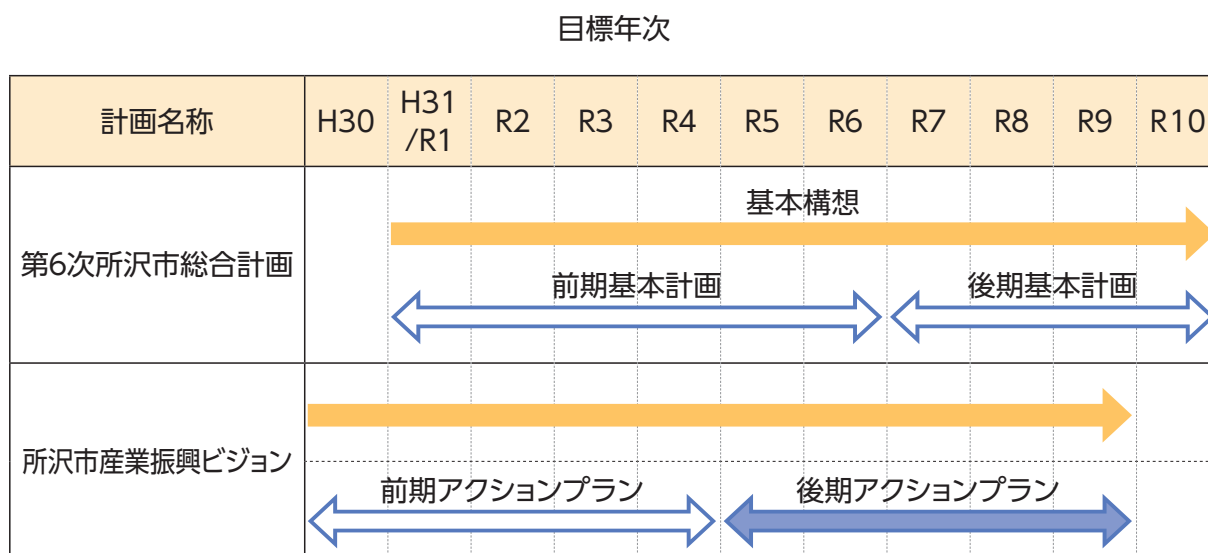
本市の最上位計画である「第6次所沢市総合計画」（計画期間：令和元年度～令和10年度）における産業・経済に係るまちづくりの目標（魅力・元気・文化を誇れるまち）の実現に向けた、産業振興施策に関する個別計画として本ビジョンを策定するものです。

また、本ビジョンに掲げる方針や施策の方向性については、「第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：令和3年度～令和7年度）や「所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）」（計画期間：令和元年度～令和10年度）をはじめとする関連計画に定める施策方針や重点プロジェクトとの整合を図ることとします。

《本ビジョンの位置づけ》



本ビジョンは、平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間とし、前期アクションプラン（平成30年度～令和4年度）に続く後期アクションプランとして、計画期間は令和5年度から令和9年度の5年間とします。



1) 改定方法

平成30年度に、本ビジョンの実現に向けて協議を行うために設置された、学識経験者や産業関係団体、公募市民で構成する「所沢市産業振興ビジョン推進会議」において、本市の地域産業の強みや課題、目指すべき方向性等について大所高所からの意見・知見を得ながら改定を行いました。

また、本ビジョンの前期アクションプランが終了することから、できるだけ多くの市内事業者や市民の声を反映することを基本的な考え方とし、市内事業者や農家等に対するアンケート調査や、市内産業関連団体へのヒアリング、パブリックコメント等を通じて、幅広い意見を聴取しました。

2) 後期アクションプラン策定の考え方

① 社会経済情勢の変化等を踏まえた施策体系の整理・見直し

今回の改定に当たって実施した基礎調査結果をはじめ、本市産業を取り巻く社会経済情勢の変化及び本市が目指す「ゼロカーボンシティ」の実現、「人を中心にしたまちづくり」の推進等の観点を踏まえた産業振興施策体系の整理・見直しを実施しました。

② 施策の柱を支える重点推進事業を設置

前期アクションプランの計画期間（5年間）で集中的に人的資源及び経営資源を投入し取り組んできた先導プロジェクトの達成状況や効果等を勘案し、施策の柱を支える後期アクションプランのなかで、特に重点的に取り組むものを「重点推進事業」として位置づけました。

③ 産業振興ビジョン実現に向けた進捗管理の実施

前期5年間におけるアクションプラン（主な取組）の進捗管理は、先導プロジェクトの重点事業で評価してきましたが、後期アクションプランでは、すべてのアクションプランを評価対象とし、産業振興施策を総合的に評価します。その進捗管理にあたっては、本編第5章で示した各アクションプランに基づいて実施する事業と、総合計画における進行管理や毎年度の行政評価等を関連づけることにより、効率的な進捗状況の評価を行っていきます。

